



うまこしゆうせい
馬越裕正議員

キーワードは「見える化」 笠岡市の健康プログラム

議員 笠岡では、健康医療課の「ぐるりんウォーク」などの政策を実行している。日本全国では、「タニタの健康プログラム」を導入して、「見える化」を推進している所がある。笠岡市の目指す方向についてたずねる。

健康福祉部長 笠岡市では、食の見直しと運動の推進に重点を置いた取り組みを進めたい。今までは「見える化」が不十分なところがあった。今後は、タニタの基本的な考えなども参考に「見える化」を実践し、生活習慣の改善・健康寿命の延伸につなげたい。

市長 今回の政策の中で、市民の皆さまはもちろんであるが、全国にも情報発信をしていきたい。



ドローン元年 導入・実用化へ向けチャレンジ

議員 「ドローン」導入の可能性についてたずねる。ドローンの実用化については、墜落事故の影響で負のイメージが評価されがちであるが、防災面、観光面等で導入を検討すべきであると考えている。笠岡市の今後の可能性についてたずねる。

市長 「ドローン」の検討については、民間の業者が近隣にいるので、直接市がするしないではなくて、不法投棄・観光面での撮影等も含めて、あらゆる面での利活用を大いに検討するべきであると考えている。



おおもとますゆき
大本益之議員

産業振興のために 土地利用制限の見直しを

議員 都市計画区域の線引きを廃止して約6年が経過した。宅地造成など一定の成果があったが、産業振興では、まとまった土地を確保できないなど課題がある。制限地域の設定範囲や建築制限など、土地利用制限の見直しを図ってはどうか。

市長 土地利用について状況を確認しつつ、笠岡市の特性や社会環境に適切に対応できる特定用途制限地域における規制緩和を検討し、実施に取り組みたい。

議員 景気が上向いている状況の中で、タイムリーに規制緩和・企業立地の誘導を図ることが必要だと思うが。

市長 見直しをやるべき時期にきているのではないかと思う。今や



るべきことと先にやるべきことを担当部局と協議し、行えるものは実施したい。

キャリア教育の充実を

議員 子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育の推進を体系的に進めて、起業家的な資質や能力を育み、地域に根付く人材の育成につなげてはどうか。

教育長 キャリア教育は非常に重要であると認識している。様々な取り組みを行っているが、さらに方針の明確化を図っていき教育課程に位置づけて、職業的な学習とか、効果がある活用などをやらなければと思っている。小中学校の段階から課題対応力やキャリアプランニング能力を、発達段階に応じて育むという視点を意識的に盛り込み子どもたちの力をつけたい。